

# 学校だより



平成27年4月30日

横浜市立二谷小学校  
校長 渡邊 文子

## 「知りたい！」を学びの原動力に

学校長 渡邊文子

木々の緑がさわやかな季節になりました。入学式以来、雨の日が続いていましたが、先週の金曜日は、お天気に恵まれ全校遠足を実施することができました。6年生を中心とした高学年の優しく責任感あるリーダーシップのおかげで、1年生も元気に楽しく一日を過ごすことができました。二谷小学校の伝統である縦割りグループによる活動は、“よりよく人と関わる力”を子どもたちに育ててくれていると改めて実感しています。

さて、今、1年生は目を輝かせて学校探検をしています。校長室にも探検バッグを手にした1年生がやって来て、部屋を見回しながら様々な発見をしていきます。

多くの子が目を留めるのが歴代校長先生の写真。校長室に飾られている歴代26人の校長先生の写真（本当は28人なのですが、初代と2代校長先生の写真はありません。）を見て、「あれは何。」に始まり、様々な感想や質問が飛び交います。どうして初めの頃の校長先生の写真がないのかという質問に、110年も昔からある学校だから、古い写真がなかったのかもしれないと答えたところ、「どうして、そんなに古いのに、学校はきれいなの。」

と、一人の子が不思議そうに言いました。どうやら、校舎は100年前から同じ建物と思っているようです。途中で建て替えたことを説明すると、

「ふうん、リフォームしたのか。」

と納得の様子。実際に見たことや新たに得た情報、既に獲得している知識を結び付けて自分の考えをつくり出していることに感心させられました。興味の対象も様々、見学の表情も様々ですが、一人一人が自分の目で見て、感じ、考える姿は、立派な学習者です。ちなみに、二谷小学校の歩みを確かめてみると、A棟は1967年（昭和42年）に、B棟は1974年（昭和49年）に建て替えられたとのこと。今から40年以上も前のことです。

子どもの考え方・感じ方は、一人一人違います。その違いをしっかりと受け止めながら、互いに学び合って多様な考え方ができるようにしていくのが、共に学び合う場である学校の務めです。1年生の学校探検の原動力は「知りたい」という気持ち。それが主体的な学びにつながっています。子どもたちが、「学びたい」「知りたい」という思いを高めることのできる授業を今年も目指していきたいと思えます。



後日、「教職員の勤務実態へのご理解と改善策へのご協力について」（教育委員会、横浜市PTA連絡協議会）を配布させていただきますのでご一読ください。二谷小学校では、会議の効率的な運営等に取り組みつつ、今後も教育活動の充実を目指してまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。